

重点事業 01 健康づくりの推進

健康福祉に関して「支援を必要とする高齢者の増加」が町の大きな課題。生涯にわたり活躍できる健康長寿を増やすため、今年度から町内事業所と連携した減塩等の取組み、町内ウォーキングマップの制作など、健康づくりを推進しています。

今後も町民運動となるような効果的な健康づくり事業を展開していきます。

重点事業 02 学力対策事業

かねてからの課題である基礎学力向上。学校・地域・家庭が一体となり学力向上の取組みを強化します。また、今年度からの新規事業も継続していきます。



▶めこたまで導入した「セカンドステップ」の様子

重点事業 03 所得向上対策

地域経済の活性化には、一人当たり所得の向上が欠かせません。今年度、新規事業として取組んだ「小規模事業者支援事業補助金」など、商工事業者や農林事業者の所得底上げとなる中長期的な事業を実施していきます。

また、町内建設業者の下支えのため、公共工事を安定的に発注できるように計画的に事業を実施していきます。

重点事業 04 ウィズ・コロナ対策

新型コロナウイルス感染症対策は引き続き優先課題です。

国の基準に基づき、適切な感染防止対策を講じることで「ウィズ・コロナ」を意識した行政サービスを提供していきます。引き続き、会議等にはオンラインを有効に活用する一方、地域が明るくなるイベント等の事業は安易に中止にせず、積極的に実施できるよう取り組んでいきます。

重点事業 05 デジタル化の推進強化

5年度から3カ年計画でデジタル化を推進していきます。町では、誰もが格差なくデジタルに親しめる環境づくりを目指します。

ポイントはゲームのように楽しみながらデジタルに触れること。金山らしいデジタル化を形にするために、まずは計画を策定する予定。皆さんの生活にデジタルが浸透し、利便性が向上するような事業を検討していきます。

重点事業 06 地域交通のあり方

今年度から大きく見直した町の地域交通事業。スクールバスのサービス拡充(中学生まで無料)やデマンドハイヤーの導入について、どのような成果や課題があったかを検証し、課題解決に向けて改善を図っていきます。



▶デマンドハイヤーの利用登録者数は90名超

当町の財政状況

事業や公共施設の見直し効果あり 財政状況を理由に事業を中止する「我慢」の時期は回避

令和3年度決算からみる財政状況について、懸念していた「早期財政健全化団体」の指定は一時的に免れたと捉えています。状況が好転した大きな要因は次の2つです。

- ① 継続している事業見直しや公共施設集約の効果
- ② コロナ対策や経済対策のため一時的に拡充された国・県の支援

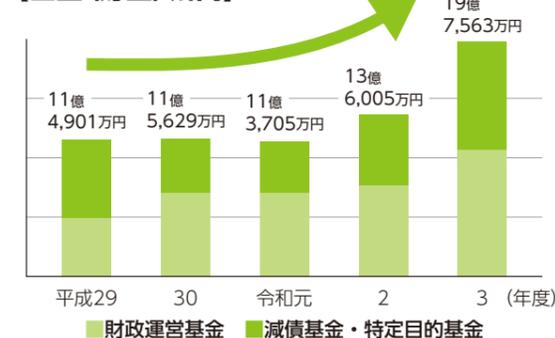
2年度から継続している事業見直しの効果が出ています。今年度実施した中央公民館の移転も、将来の財政負担の軽減効果は大きいと試算。一方で、国や県からの支援は限定的なものです。一時的な歳入増が要因の一つで

あるとは言え、財政健全化に向け歩みを進めています。

その結果、基金(貯金)も大きく積み増したほか、計画的な事業実施により、起債(借金)残高も圧縮できていることから、財政指数は大きく改善しました。グリーンバレー神室エリアなどの収益事業の見直しは引き続き行う必要はありますが、**財政状況を理由に事業を中止するような「我慢」の時期は回避**できたと考えています。

これからは、人口減少によって変化していく歳入規模を見極めながら、**効果的な事業に適切に投資していく**財政運営に切り替えていきます。

【基金(貯金)残高】



▲3年度は見込以上に交付された地方交付税などを原資に大きく積み増したことから、1年間で6億円以上残高を伸ばしました。現在では当面の目標としていた基金総額「20億円」を達成している状況です。

【地方債(借金)残高】



▲近年の発行抑制により平成30年度をピークに、起債残高は年々減少しています。3年度末の全会計残高は前年度比3億9,521万円の減少。今年度は住民サービスの充実のため、有利な地方債を中心に活用を検討していきます。

重点事業 07 グリーンバレー神室の経営見直し

グリーンバレー神室一帯の今後の方向性については、積極的な財政運営への転換期であっても、慎重に検討すべき事業です。

運営しているグリーンバレー神室振興公社の経営が行き詰まることの無いよう、柔軟でスピード感を持った積極的な対応策を打ち出していきます。現在、検討が最終段階に入っており、5年度中に方向性を示します。

重点事業 08 燃料価格等高騰に対する緊急支援

燃料価格等の高騰により、農業や商工業はもとより町民生活全般にとって、大きな打撃となっています。

関係者への聞き取りなどにより状況を把握のうえ、最適な支援策を検討します。コロナ対策と同様に、緊急の課題として優先度は高いものと捉えています。状況に応じた支援となるよう柔軟に対応していきます。

重点事業 09 金山住宅・景観施策のあり方

金山住宅の着工数減少が近年の大きな課題。特に若年層のニーズからは、さらなる停滞も想定されます。民間事業者等の提案を取り入れながら住民ニーズを反映させた金山住宅のあり方を検討していきます。

とは言え、町にとって街並み・景観は、観光につながる重要な資源。今以上に魅力化を図っていくための事業も併せて検討します。

重点事業 10 プロジェクトチーム提案事業の実現

今年度、町職員で構成される5つのプロジェクトチームを立ち上げ、テーマに沿って課題の把握、研究、解決のための事業提案を行いました。

テーマは人口減少対策や人流拡大、これからの観光、生活様式の見直しなどです。提案されたユニークで実効性のある事業については、5年度からの事業実施を検討していきます。

令和5年度予算

当初予算編成方針についてお知らせ

町予算の基本的な考え方やポイントを示す「当初予算編成方針」。例年、翌年度の当初予算編成が本格化する12月までに作成し、ホームページでも公表しています。現在の財政状況や今後の見通しを考慮しながらも、必要な行政サービスが実施できるよう令和5年度予算を編成していきます。

【問い合わせ】役場総合政策課 財政係 ☎29-5604